

NEWS LETTER

# KYU-UEDAKEJUTAKU

## INFORMATION

八尾市指定文化財 安中新田会所跡  
旧植田家住宅だより

Volume 09  
2011年7月発行

### 幻想の昭和 ～ノスタルジーの中のリアル～

浮世絵の話

まちなみ再発見！  
八尾歴史散歩

特集  
「旧植田家住宅の日常」



<http://kyu-uedakejutaku.jp/>



## 企画展「昭和の暮らし」

<開催期間：2011/7/14(木)～8/29(月)>

エアコン、全自動洗濯機、パソコンなど…現在私たちの生活の中には便利なものがあふれています。このようなライフスタイルが定着し始めたのが昭和30年代ごろといわれています。昭和といえばそれほど古くはありませんが、その生活の様子は現在とは少し違っていました。また同じ時代でも生活は大きく変化しました。

旧植田家住宅には懐かしい昭和時代の道具がたくさんこされています。どの家庭にもあったこれらの道具を通して、かつての昭和の暮らしを思い起こしたり、また想像してみてください。

表紙写真：ちゃぶ台のある風景  
(旧植田家住宅・ガイドコにて)

4

## 幻想の昭和

～ノスタルジーの中のリアル～

6

浮世絵の話

7

駅前花壇と河内木綿

8

特集

「旧植田家住宅の日常」

+アンケート結果

10

まちなみ再発見！八尾歴史散歩

11

講座「錫器～その歴史と技法～」

12

なにわの伝統野菜栽培日記⑨

13

植松のまち・ひと 第5回

14

コラム「落穂拾い - 今東光の薫風 - (三)」

15

今後のお知らせ





# 幻想の昭和

～ノスタルジーの中のリアル～



あらかじめことわっておくが、私は昭和生まれと言っても、太平洋戦争どころか東京オリンピックや大阪万博の熱気を生で感じたことすらない世代である。戦中・戦後世代の方から見れば、昭和を語るなどおこがましいと言われるかもしれない。確かに、生きてきた長さで言えば、平成に生きている方が長くなってしまっているが、その事実には愕然としたり、教科書に「昭和時代」という言葉を見つけて、なにやらさみしい気持ちになったりするあたり、やはりアイデンティティーは昭和にあるのだろう。

## ◎「昭和ノスタルジー」

さて、そのあたりの話は棚上げすることにして、「昭和ノスタルジー」という言葉が使われはじめたのはいつのころだったろうか。バブル崩壊の後か、あるいは昭和の終わりには「昭和レトロ」としてすでにあった言葉のような気もする。いずれにせよ、この言葉が対象にしているのは高度経済成長期ごろの社会や文化だ。ある時代をどう評価するかは、その人の立場や見る角度によって大きく変わるが、少なくとも「昭和ノスタルジー」はマイナスのイメージを

持った言葉ではない。ではなぜその時代が多  
くの人たちの郷愁を誘い、ブームを生むほど  
になったのだろうか。それはおそらく、今ほ  
ど価値観が多様でなく、多くの人が同じ方向  
を向き、成長していく国の中で思い出を共有  
できた時代だったからだ。

当時の日本は急速に成長していく経済力と  
工業力によって、社会が大きく変わっていく  
最中であつた。大量生産・大量消費する社会  
は公害やごみ処理問題、エネルギー問題など  
といった現代にも通じる問題を生み出した  
が、それ以上に、人びとが夢見た生活を一定  
程度満たしていったのだ。家電の普及は主婦  
の家事を軽減し、クーラーは夏にも快適な生  
活環境をつくり出した。また、自動車は移動  
の自由を拡大すると同時に、所有欲も満たし  
た。「これからはもつとよくなっていくはず

だ。」そう感じさせるに十分な状況だったこ  
とは想像に難くない。そして、そういたい  
い思い出の中の昭和、つまり幻想の昭和にこ  
そ、その時代の人びとのアイデンティティ  
があるのだ。それこそが「昭和ノスタルジー」  
の正体にほかならない。

### ◎ノスタルジーの中のリアル

「昔はよかつた。」「今時の若い奴らは。」  
いつの時代の年長者からも聞かれる言葉だ。  
これに対してはいつの時代の若者も「古い価  
値観を押し付けるな。」と反発するきまりに  
なっている。しかし、これは逆も言える。「新  
しい価値観を押し付けるな。」ということだ。  
私は、時代というのは常に力の平衡点に作ら  
れていくと考えている。つまり、古いものと  
新しいもののバランスの中で成り立っている  
と言える。古いものが必ずしも悪いわけでは  
なく、新しいものが必ずしもいいわけでもな  
い。また逆に、古いからといって必ずしもい  
いわけではなく、新しいからといって必ずし  
も悪いわけでもない。それぞれにそれぞれの  
良さがあり、悪さがあるということだ。

今回の企画展示で感じてほしいのは「ノス  
タルジーの中にあるリアル」である。当時を  
知る人には幻想ではない昭和を思い出してい



1970年 大阪万博



昭和の食卓風景

ただきたいし、若い人たちには古い価値観で  
はない昭和を知っていたらいいと思ってい  
る。それはきっと新たなリアリティをとも  
なって、見る人の前に立ち現れてくるに違  
ない。

安中新田会所跡 旧植田家住宅

学芸員 宮元正博

# うきぶえ はなし 浮世絵の話

近ごろ何かと話題になっている浮世絵師・歌川国芳の没後百五〇年の展覧会が、現在全国各地の美術館などで行われています。それを受け、旧植田家住宅の展示室でも六月、国芳の浮世絵が展示されました。

展示されたのは、歌川国芳《義士本望を達して仙国寺へ引取固の図》と《右大将源頼朝公裾野牧狩勢揃図》の二点。ただし二点といっても、この国芳の絵、三枚続きで一つの画面になっており、一枚でも十分に楽しめる絵になっています。

浮世絵は、いわずと知れた江戸の大衆文化で、メディアとしての役割を担うものでした。しかし写真もコピー機もない時代、こうした出版物を発行するには多くの人手が必要でした。絵師、彫師、摺師と呼ばれるそれぞれの専門家たちが、持てる技を發揮し、一つの浮世絵版画を完成させていくのです。

電子機器や印刷技術が向上した昨今、誰でも簡単に素早く大量のメディアを発信できる時代となりました。だからこそ、あえてその

正反対にある浮世絵に注目が集まるのかもしれない。職人（プロフェッショナル）たちが作り出す、時間と手間のかかるそのものには惹きつけられるように思います。

旧植田家住宅の収蔵品には、掛け軸などの書画類がおよそ三〇〇点以上あり、浮世絵もその中に含まれています。今後、開催されるかもしれない「浮世絵展」にご期待ください。



歌川国芳《義士本望を達して仙国寺へ引取固の図》(1847年～1852年)

## 浮世絵のなわと

よく図録などにはタイトルや作者名とともに制作年が記されていますが、これはどのように特定されているか、ご存知でしょうか？

実は、浮世絵の場合、多くは画面の印から年代を判断しています。その印は「極印（きわめいん）」あるいは「改印（あらためいん）」というもので、出版に対する規制が厳しくなった寛政二年（一七九〇）以降、幕府が許可した出版物に対して用いられました。

例えば、「極印」（「極」の文字の印）だけのものや「極印」に「名主印」（名主の名前が入った印）が押されたもの、「名主印」が二つあるもの、「改印」（「改」の文字の印）＋「年月印」のものなど様々で、年代ごとに印の種類や形状、またはルールなどが変化していきました。それを浮世絵の制作年の特定に利用しているというわけです。

上記の絵を例にすると、確認できるのは「米良」（左）と「村田」（右）の二つの名主印。「名主印が二つ」だった時代は「弘化四年（一八四七）～嘉永五年（一八五二）」というよ



うに、その制作年が分かります。知っておくとちょっと楽しい浮世絵のお話でした。



駅前リポート

## 「駅前花壇と河内木綿」

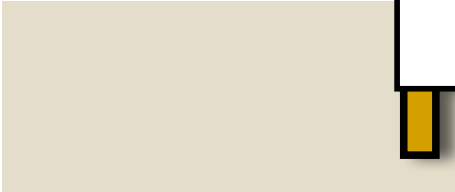
七月十二日（火）、JR八尾駅南口の駅前花壇にたくさんさんのマリーゴールドとポーチユラカの花が植えられました。また六月一〇日（金）には、河内木綿の植え付けが行なわれました。

毎年、商店街と地域の方がた、市役所西館の関係者のみなさんと協力して管理を行なってきた駅前花壇ですが、駅周辺整備事業のため、残念ながら年内で最後になりました。その想いもあり、今年の花壇はひときわ賑やかになりそうです。生い茂る雑草の除去作業も一段と力が入りました。



河内木綿の花

# 駅前花壇 と 河内木綿



たくさんの花が植えられました

雑草の生い茂る花壇



毎年恒例となっている河内木綿は、植え付けから早一カ月が経ち、すでに花を付けているものもあります。おそらく数日後には、黄色い花で覆われた花壇が通行人や駅利用者の目を楽しませてくれるでしょう。河内木綿の実綿は、秋に見ごろを迎えます。

## ふれあいとぬくもりの商店街



JR八尾駅前商業協同組合

# 『旧植田家住宅の日常』

八尾市指定文化財  
安中新田会所跡 旧植田家住宅

その日常の風景を  
大公開!?

三年目に入り、私たちスタッフもすっかり「植田家住宅の人」と認められ、地域の中にも居場所ができてきたなあと感じています。毎朝、施設の周りを掃除していると、「毎日ありがたい。」と声をかけてくださったり、「野菜出来たから持っていき。」「花咲いたから座敷に飾る？」と野菜や花を頂いたりすると、本当に有難くうれしくなります。

## ◇地域と一体となって

地域の方たちや商店街の方たちとは、毎年渋川神社で行なわれる「ふれあい昔あそび」に参加するほか、駅前花壇での花や河内木綿の植え付け・栽培を一緒にしたり、植松の昔の様子を聞かせていただくなどの活動を積み重ねてきました。これからJR八尾駅舎とその周辺整備が始まり、まちの様子や生活も変わっていくでしょう。そんな中で、この地域の人づくり・まちづくりについて、これからも一緒に考え、取り組んでいくつもりです。

## ◇旧植田家住宅の“窓”から

旧植田家住宅はJR八尾駅や商店街のすぐ近くにありますが。しかも生活道路沿いに門が開かれているためか、通りすがりの人たちも気軽に立ち寄られます。トイレを借りに来る

人、道を尋ねに来る人、時々フラッとやって来ては受付のスタッフに、いろんなことをしゃべるだけしゃべって帰っていくお年寄りも数知れず…。入館者数にはカウントされなけれど、地元の施設の役割として大切な仕事なんだと思います。日々対応しています。

## ◇毎日がイベント!

もちろん元気な子どもたちもいっぱいやって来ます。お年寄りだけでなく、同じように受付のスタッフに学校や友達のこと、時には恋の悩み!?まで話していく子どももいたりします。自分で植えた畑の野菜や庭に水やりをしたり、草抜きを手伝ってくれる子、友達と宿題する子、走り回って畳に足型をつけてスタッフに雑巾で拭くようにしかられる子。人間だけでなく、時々やってくる野良猫たち、たまに現れるアオダイショウ。そして、赤くなるのを見計らってプチトマトを根こそぎ食べたカラスたち! 毎日、いろいろにぎわう旧植田家住宅です。

## ◇三年目に突入!

### 旧植田家住宅の活動

旧植田家住宅がオープンして、三回目の夏を迎えます。この時期、畑には夏野菜が毎日収穫を待ち、庭は少し気を許すと雑草だらけに…。朝夕の水まきにも時間をとられ、あつという間に一日が過ぎていきます。

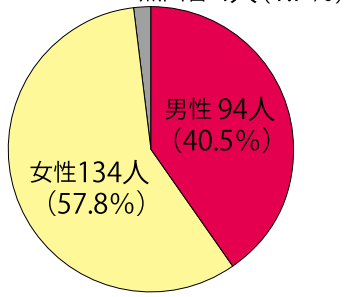




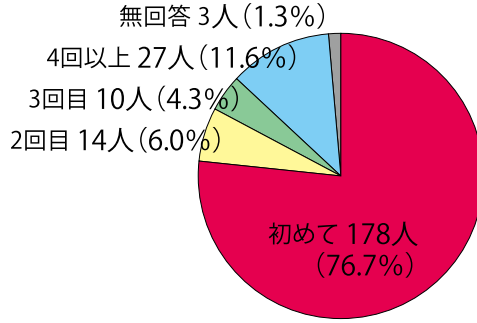
# アンケート結果発表

今年四月末から六月末までの間、来館者の皆様にご協力いただきましたアンケートの結果を発表します。ご協力ありがとうございました。  
旧植田家住宅スタッフ一同

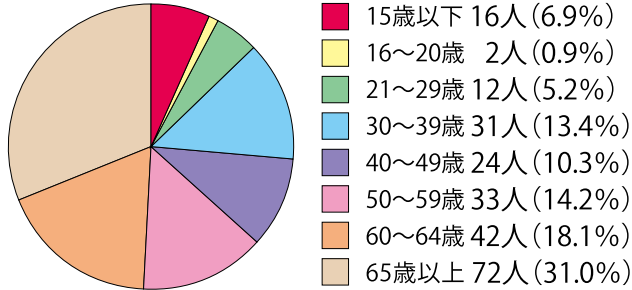
## 1.性別



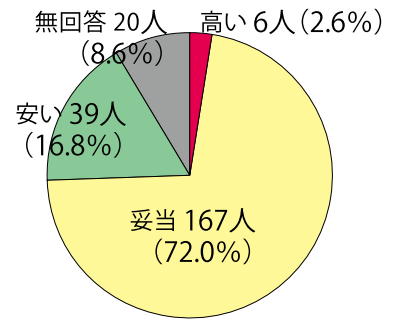
## 5.来館は何回目ですか？



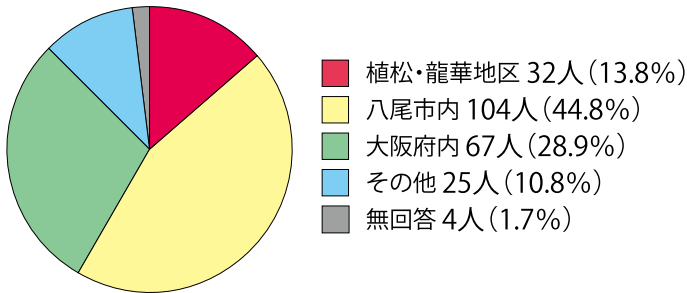
## 2.年齢



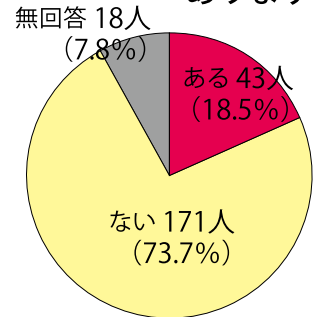
## 6.入館料について



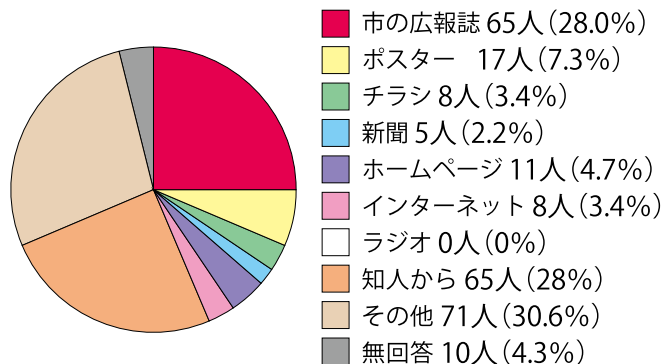
## 3.お住まいの地域



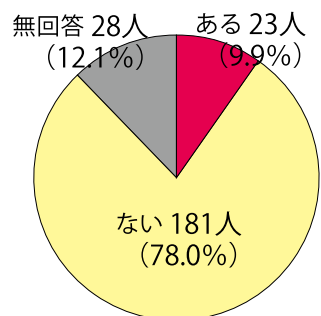
## 7.ホームページを利用したことがありますか？



## 4.旧植田家住宅を何で知りましたか？(いくつでも)



## 8.旧植田家住宅だよりを見たことがありますか？



アンケート回答数：232 枚

まちなみ再発見!

# 八尾歴史散歩

〽 植松・跡部・亀井をあるく〽

六月五日(日)、早い梅雨入りで心配だった天気は曇り。まちあるきの参加者二十二名は、地図づくり名人・北村茂章さん作のマップを手に、九時半、JR八尾駅南口を出発した。マップは昭和二十三年(一九四八)の航空写真に明治期の集落を落し込み、旧奈良街道と史跡、見所などを配置したもの。確かに旧街道は古い集落跡を縫っている。(なるほど!)

植松から太子堂へ向かう途中、物部守屋大連墳に寄るが、あいにく祭礼の準備中とのこと。車両の往来も多く歩道も狭いため、ここでの物部氏のお話は持ち越し。すぐ先の大聖勝軍寺へ。勝軍寺は、聖徳太子が物部氏との戦いに勝利した後、四天王寺とともに建立された寺。

勝軍寺から跡部へは、まちの道幅は狭いが、所々に地藏尊や伝統民家、寺があり、旧街道をほうふつさせる景観があります。道中、参加者の方から次のような質問が

ありました。ところが資料も持ち合わせず、返答にやや時間がかかってしまい、次回のまちあるきの課題・参考になりました。

Q: 渋川神社の祀神は?

: 物部氏の祖神である天忍穗耳命(あめの おしほみのみこと)・饒速日命(にぎは やのみこと)

Q: 跡部という地名は?

: 物部一族である阿刀氏が拠点としていたことによるとされる。(今春聴(東光)著『熊野拾遺』に神武天皇の東征について大阿刀氏の興味深い記述があります)

Q: 奈良街道のはじまり地点は?

: (飛鳥時代)難波津・四天王寺と斑鳩里・法隆寺を結ぶ  
(四天王寺は今の場所でなく、最初は森ノ宮あたりだったという説もあります)

『古事記』から登場する河内には、たくさん史跡や史料が様々なかたちで残っています。まだまだ知らない事や、見過ごしている所があります。しかしこのような機会に楽しく体得できることは、八尾の魅力で、面白さだと言えます。

約六キロメートル、三時間のまちあるき

は、JR久宝寺駅・久宝寺遺跡の碑の前で記念写真を撮り、解散。

今、駅前には高層建築が建ち、八尾の新しい景観が生まれています。旧植田家住宅への帰り道は、生駒・高安山を望み、そのふもとから広がる海を想像しながら、なつかしい夢の気分になりました。

NPO法人HICALI

理事長 木村正二



JR久宝寺駅・久宝寺遺跡の碑の前にて

# 講座 すずき「錫器～その歴史と技法～」

今、明かされる錫器の歴史と技法…



旧植田家住宅では四月一日（金）～五月三十日（月）の期間中、企画展「金属のうつわ」が催され、その関連企画として四月二十四日（日）より、旧植田家住宅学芸員の宮元正博による講座「錫器～その歴史と技法～」が行なわれました。

私たちは普段、錫器を使う機会は少ないのではないのでしょうか。また、今まで錫器についての研究はほとんどされることはなかったそうです。今回の講座では、そんな知られざる錫器の歴史、製造の方法などの話を聞くことができました。

錫単独の製品は古代にはすでに存在します

が、器物としての錫器が使用されるのは中世に入ってからで、特に酒器が多かったようです。一般に錫器の製品は、

- ① 鋳型の設計（平面図作成）
- ② 鋳型の造形
- ③ 鋳型の種類設定
- ④ 鋳込みの作業
- ⑤ ロク口ロ挽き
- ⑥ 接合（十ロク口ロ挽き）
- ⑦ 仕上げ



の工程を経て完成し、ほとんど手作業で行われるということでした。ロク口ロ挽きの際に使用するカンナは数百種類にのぼるそうで、精緻な技術が求められることが想像できるでしょう。

また、錫器の産地としては京都、大阪、江戸、薩摩等があげられ、産地ごとに製造方法が微妙に異なります。特に大阪と薩摩では、接合方法やロク口ロ挽き、鋳型の材質などの違いが顕著にあるようです。

講座の最後には「残された錫器の製品の観察や、産地の伝承技術を調査することで使用方法や製造についての歴史が解明されていくのでは」と話が締めくくられました。今後の錫器研究の発展が期待されます。

錫器は私たちにとって、あまり馴染みのな

いものかもしれませんが、錫器の愛好者は「錫器に入れたお酒はなぜかおいしく感じる」と口を揃えています。錫器の性質によるものなのか、それとも単なる気のせいなのか…。それはわかりません。でも皆さんも一度試してみてもどうでしょうか。きっと新しい発見がありますよ。

関西大学大学院文学研究科

谷口弘美



実物とスライドを交えながら講座が進む



# なにわの伝統野菜 栽培日記

No.9



## 【直火パワーと新鮮さ】

四月の中頃、夏野菜の種まきを行なった。今回も勝間南瓜(こつまなんきん)・毛馬胡瓜・玉造黒門越瓜(たまつくりくろもんしろうり)、そして河内木綿の四種。予定通り、事前に

申し込みをしてくれていた子どもも十四名と当日飛び入りの子どもも八名の総勢二十二名で種を苗ポットに植えてもらい、各自、自分たちの名前のプレートをつけた。

天候不良のせいか、例年よりも成長は遅いが、三週間ほどで何とか発芽し、五月の中頃、本葉が二、三枚出た頃に畑へ植え替えた。この期間、数名の子どもは畑カードの「おせわ・水やりスタンプ」の数をどんどん増やしていく。文字通り、水やり等をするとその場でスタンプを押す。こうして収穫までにスタンプが一杯になった子どもには、がんばったご褒美にスタンプお手製の表彰状とかわいい野菜のマスコットを呈しようと考えている。

また、四月の末に収穫を終えたプランターの確井豌豆は、カマドを使って豆ごはんを炊いて試食した。さすがに採りたて新鮮だからか、市販の物より非常に甘く、皮も全く口に残らない。この日参加した子どもの中には、実は数名、豆の嫌いな子どもいたのだが、「コレやったら食べれるわ!」と、おいしそうにほおぼっていた。カマド本来の**直火のパワー**か、はたまた採られたて**新鮮野菜の味**か。後日、その子どもが「豆ごはんが好きになったよ!」と教えてくれた。

## 【つんとんつんつん!】

夏野菜の植え付け前、畑でパンパンに大きく育った赤たまねぎを、見学に来た近隣の幼稚園児に収穫してもらった。小さな体で玉ねぎの葉を引っ張り、「う〜ん、よいしょ! 抜けへ〜ん」。中には勢い余って、たまねぎごと「どす〜んっ!」と尻もちをつく園児も。ひとり一本ずつ抜いてもらい、大きなたらいを使って井戸水できれいに土を落としもらった。

うれしそうに収穫してくれた園児たちに、次も旬の野菜を味見してもらおうと、今、いろいろな品種のトマトをプランターで植えている。梅雨明けには、畑の野菜と同様、トマトもたくさん収穫できると思う。自分で世話をした野菜を食べる。まちの中で暮らす子どもにはなかなか難しいことだろうけど、ここ旧植田家住宅で少しでも経験してもらえればと思う。



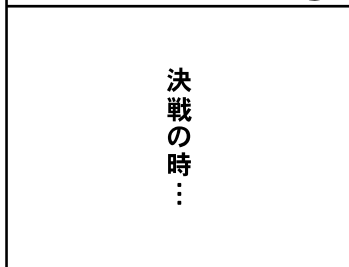
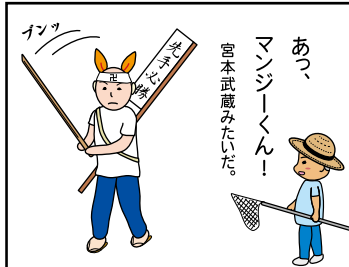
う〜ん、よいしょ!



きれいに土を落とします

# マンジーくん

安富士 暁



昭和 38 年 (1963) 頃

・「象印」の看板が印象的

7 年後…



昭和 45 年 (1970) 頃

- ・右側に新しい家が建った
- ・奥に見える（渋川神社の）樹木が大きくなっている

ふりかえれば、些細な変化があっても、全体の雰囲気は左の古い建物によって保たれていることがよくわかる。

40 年後…



平成 23 年 (2011) 7 月現在

## 植松のまち・ひと

第五回

変わりゆく風景×植松のまち並み②

前号に引き続き、今回も植松の変わりゆく「まちの風景」をお伝えしたい。今回は、旧植田家住宅前の踏切から望むまちの様子を、昭和の中頃から写真で振り返る。時間や天候によっても景色は日々流転するが、大きな時代の流れの中でその場所はどのように変化したのか。まちの魅力発見の原点をゆく。

### 旧植田家住宅前 踏切（第二安中踏切）の風景

- ・看板がなくなり、白壁が出現
  - ・遮断機が新しくなっている
- ※ちなみに画面中央（奥）に見えている建物が植田家住宅



おいしいお茶は心を豊かにしてくれます…

暮らしのお茶からギフトまで…



0120-19-1184



店主のおすすめ

- 深蒸し煎茶 芳水 100g/200g
- 深蒸し煎茶 清緑 200g
- おいしいティーパック 5g×18パック

おいしいお茶は専門店

## 龍華茶舗

〒581-0083 八尾市永畑町2丁目1-1 Tel.072-993-5673/Fax.072-923-5828

# 落穂拾い

## ― 今東光の薫風 ― (三)

文・伊東 健

第四百四十四回芥川賞受賞者の一人、西村賢太氏は、藤沢清造の没後弟子を称し、石川県七尾市西光寺にある藤沢の墓の横に自らの墓まで建てておられるというニュースを聞いて、今東光と藤沢清造とのエピソードを思いました。

東光は藤沢との思い出を単行本『東光金蘭帖』（昭和三十四年十一月十日中央公論社発行）で書き、『毒舌文壇史』（昭和四十八年六月十日徳間書店発行）で藤沢の人物を語り、最晩年の『週刊読売』誌上での連載「友鏡わが交友録③」（昭和五十二年一月十五日発行号）でも書き残し、忘れられていく私小説作家・藤沢清造の魅力を人々の記憶に留めようとしていました。『東光金蘭帖』では、次のように筆を起こしています。

藤沢清造などといっても今時の人は知らないだろう。知っている人も僕が書くので思い出す

に過ぎないかもしれない。しかしながら作家の生涯において、その人となりは忘れられても、作品が残ればいつて瞑するに足るのだ。藤沢清造という希代な人物は忘れ去られても、彼の畢生の傑作である「根津権現裏」という作品は忘れはならないし、また、忘れ去られないだろう。

藤沢から面とむかつて、「甘っちょろい小説を恥ずかし気もなく書きまくりやがる」と噛みつかれたという新感覚派時代の東光が、続きの文章でも描かれています。若き日に不良で鳴らしたというあの東光が、文学に命を削る私小説作家・藤沢清造には「一本やられた」と書くのです。人生を生き延びた東光の回想の筆致には、哀惜の情があふれています。最後は芝公園内で行き倒れとなつて亡くなつたという九歳上の先輩作家の無頼と純情、大胆と小心の振幅を描出しています。

今回の芥川賞は、文学が伝統と歴史の果実であることを改めて教えてくれます。

※この文章は、今年三月現在に書かれたものです



“りんごの木”では、障害をもつ人たちが  
ひとつひとつ丁寧に縫製品や  
手織り品をつくり働いています。

# りんごの木

HOT CRAFT SHOP

社会福祉法人 信貴福祉会  
りんごの木

〒581-0868  
大阪府八尾市西山本町4-15-2  
作業所: TEL/FAX (072) 993-4330  
ショップ: TEL (072) 997-1440  
営業時間: AM 10:00~PM 6:00  
定休日: 日曜日(臨時休業あり)





## これからの展示・企画 ご案内

### 展示

- ◎7月14日(木)～8月29日(月)  
企画展「昭和の暮らし」  
※同時開催「写生作品展示(ギャラリー)」
- ◎9月2日(金)～10月3日(月)  
「大和川付け替え関連展示」
- ◎10月7日(金)～11月28日(月)  
企画展「大坂壇壘Ⅱ」(仮)

展示、イベント等のお知らせは  
ホームページもご覧ください  
<http://kyu-uedakejutaku.jp/>

### 企画

※毎月第1土曜日は「河内木綿体験(5名限定)」  
第3日曜日は「むかし遊びの日」を開催

- ◎8月22日(月)  
「子どもガイド養成講座3」
- ◎9月11日(日)  
「子ども河内木綿体験と講座」
- ◎9月24日(土)  
講演会「鴻池新田の災害略史—風水害、地震、人災」  
(講師:松田順一郎氏)
- ◎10月15日(土)  
八尾の音楽家「チェロコンサート(仮)」(演奏:安藤信行氏)
- ◎10月23日(日)  
ふれあい昔あそび「チャンバラ教室」

(詳しくはお問い合わせください)

## 8・9・10月の休館日のご案内 ※○印が休館日

### 8 August

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

### 9 September

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

### 10 October

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

安中新田会所跡 旧植田家住宅へは公共の交通機関をご利用ください ※当施設に駐車場はございません

- JR 大和路線八尾駅下車  
南出口より東へ徒歩 3分
- 近鉄大阪線八尾駅から  
近鉄バス藤井寺駅前行  
JR 八尾駅前バス停下車  
南東へ徒歩 6分
- 大阪府八尾市植松町 1-1-25
- 072-992-5311
- <http://kyu-uedakejutaku.jp>



開館時間: 午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分迄)



JR八尾店は、旧植田家住宅  
より西へ約20M。ご利用を  
お待ちしております。

# 桃 林 堂

- ◎本社・陌草園(山本南) Tel-072-923-0003
- ◎JR八尾店(渋川神社北) Tel-072-992-4649
- ◎西武店(八尾西武・地下1階) Tel-072-997-2650
- ◎東京・上野店(東京芸大前) Tel-03-3828-9826
- ◎東京・青山店(表参道) Tel-03-3400-8703

<http://www.tourindou100.jp>

大坂



本社・陌草園(山本南)

# 本当の幸せって？ 本当の豊かさとは？

モノや情報があふれ、それを大量に消費する社会。  
人々の価値観は変わり続け、本当に大切なものは…

そのような中、人々の考え方は「利己から利他へ」「古き良きものを見つめ直す」のように、  
人とのつながり、過去と未来のつながり、社会とのつながりを求めるよう  
変化してきているのではないのでしょうか？

私たち、株式会社シーズクリエイトは情報を提供する立場にあります。  
その情報を活かし、地域のヒト・コト・モノとネットワークを築き、  
そのつなぎ役を担うことで新たなコミュニティ（産業・観光・文化・教育・福祉）を創造し、  
地域経済を活性化させたいと思っています。

